

【自転車点検実施報告書】

H28年6月16日（木）

点検日：平成28年5月18日（水） 9時～12時

参加者：西山サイクルご夫妻、1年次10名、2年次6名、3年次8名、咲村先生、加古先生
（開始、終了時）

点検数：1年次110台 2年次88台 3年次103台 合計301台
自転車通学者合計数346台 点検率86.9%

◆事前準備◆

- ・点検封筒の準備、印刷、
- ・自転車通学者の名簿に沿って封筒への記名。（委員で手分けして記入）
- ・鍵に取り付ける白タグの準備、名簿の人数配布し、生徒各自に記入してもらう。
- ・点検シートなどの作成。
- ・西山サイクルさんとの事前打ち合わせ。
- ・自転車点検お知らせ、ポスターなどの作成。

◆当日準備◆

- ・当日朝、委員集合次第机いすなどのセッティング。
- ・登校してくる生徒たちへ声掛け。①白タグの有無②所定の場所へ駐輪
- ・白タグを持っていない生徒へは、本部にて配布
- ・白タグの名前を確認しながら、点検封筒を自転車へ貼り付け

◆点検◆

- ・点検開始時に委員集合し、西山サイクルさんから点検の大まかな流れや点検のポイントについて説明を受ける
- ・西山サイクルさんの点検に合わせ、点検サポート係3名、補助数名、本部にて集計係数名、が二班に分かれ点検実施。
- ・点検時間中に授業が終わり下校する生徒へは名簿を確認し鍵を返還。
- ・点検終了した学年から鍵の入った封筒をクラスごとに仕分けし、担当の先生方まで届ける。
- ・全点検終了後、現場の後片付けをして反省会。

◆西山サイクルさんコメント◆

毎年、自転車に興味を持っていただくと願いながら、参加しています。

今回で5回目の参加になりますが、年々不良車両は減っているようですね。

年に1度でもこういう機会があって、生徒の安全に対する意識も高まっているのかもしれない。とはいえ、チェックのついた車両は早急に最寄りの自転車屋さんで修理してほしい。1年生の自転車は新品が多いが、初期点検・調整は必要です。点検・修理して、安全に乗って欲しいな、と思います。

◆反省点・意見・感想◆

〈意見・感想〉

- ・変形による2次災害があることがわかった。
- ・新品の車両でも初期調整が必要であることに驚いた。
- ・故障などのトラブルがないと自転車屋さんにはもっていかない。定期点検の必要性を痛感した。
- ・点検開始前の西山サイクルさんからの説明は、とても分かりやすく、点検への理解度が深かった。
- ・今年度の不良車両ワースト3の説明がわかりやすかった。
- ・点検ポイントなどは子どもに伝えたい。また、子どもたちの安全への意識向上につながると良い。
- ・見ただけではわからない不良箇所があることがわかった。プロってすごい!!
- ・自転車の色々なことがわかって、交通安全委員会に入って良かった!!
- ・委員のプライドにかけて、修理してきたが、それでも修理箇所があった。勉強になった。
- ・委員が積極的に取り組んでもらえた。(by 委員長)

〈反省点〉

- ・先生からもらったリストの番号が登録番号ではなく、クラス番号のものがあつた。
- ・鍵にタグが付いていない子、ダイヤル式の鍵の子がいた。事前の周知が必要。

…… Q&A ……

Q) タイヤの気圧はどれくらい？

A) 3.5～4.5 気圧が適切な空気圧です。空気を入れる時は、腕だけで押すのではなく、体を使って入れましょう。
指で押してみて、へこむようではダメ。石のようにカチカチになるまで入れてください。

Q) 前かごの耐荷重は？

A) 5 kgです。

Q) チェーンではなく、ベルト式って今でも売られているの？

A) 売られています。

〈総括〉

- ・西山サイクルさんの説明を受けたことにより、点検に参加した委員の理解度が深まった。
- ・特に危険な自転車を3台ピックアップしてもらい、どういうところが危険かを実際に見て、点検の大切さを改めて認識した。
- ・見た目だけではわかりにくい不具合もあるので、定期的に点検するなど常に安全を意識するよう周知することも大事である。
- ・ダイヤル式の鍵の対応など、事前のお知らせにもう少し幅広い情報を盛り込むことが必要。
- ・点検が終わってから前年度の反省点を理解できるようなことも多々あるので、次年度にしっかり引き継ぎたい。
- ・参加した委員が、点検に積極的に取り組み、また積極的に質問や意見交換するなど大変充実した点検日になりました。
- ・取材のため朝から参加していただいた広報委員会さん、ありがとうございました。